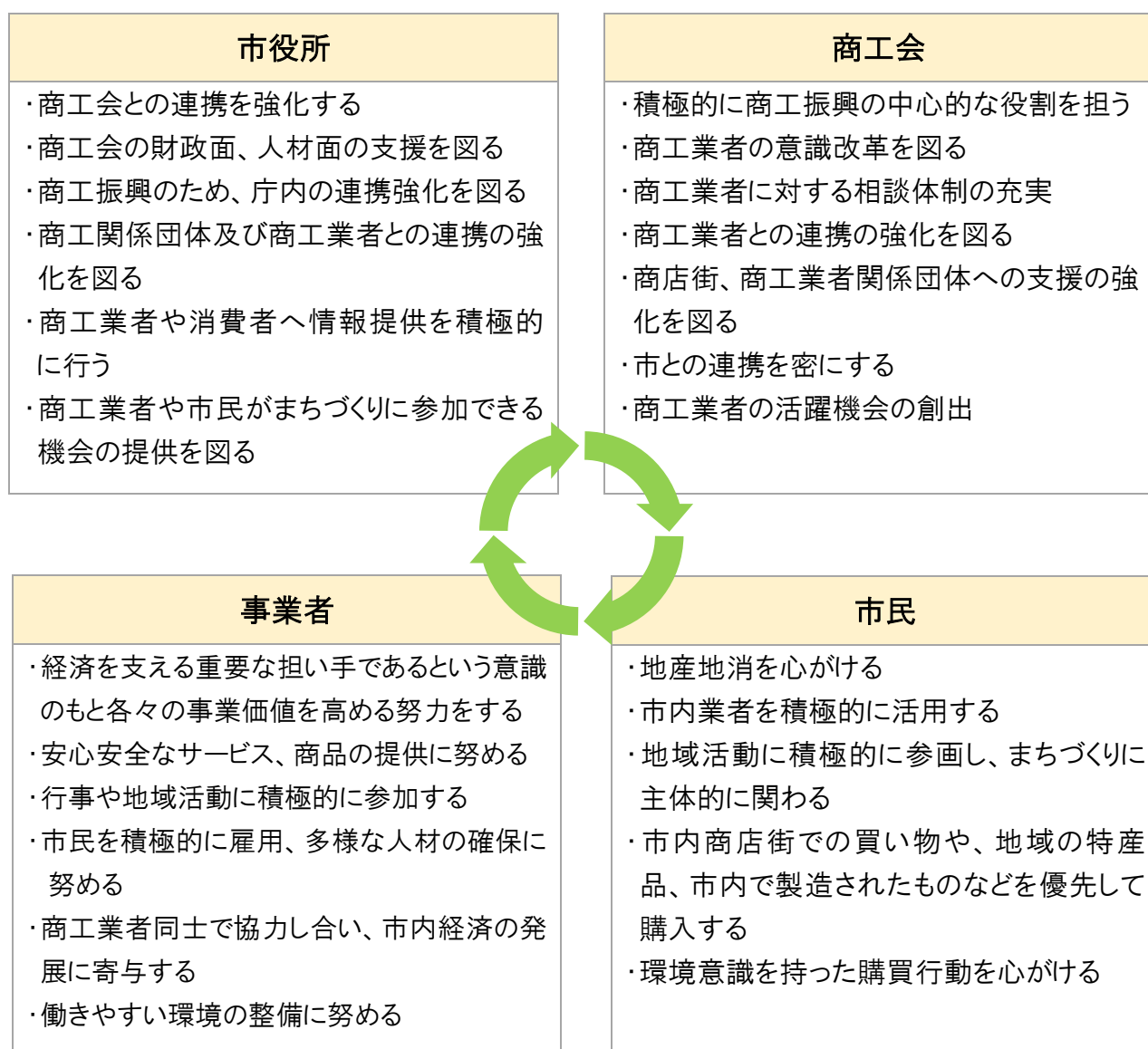


## 第 6 章 計画の実現に向けて

## 1 計画の実現に向けた4者の役割

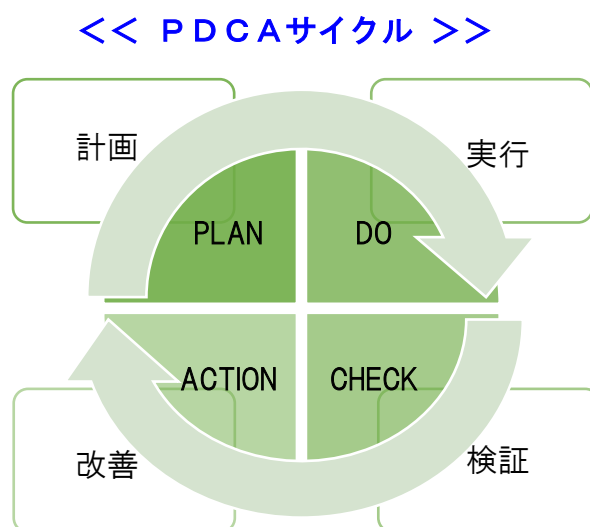
本計画の推進は、経済活動の主となる「事業者」の自助努力だけでは難しく、行政機関である「市役所」や商工会法に基づいて小規模事業者や中小企業を支援する「商工会」、消費活動を行う「市民」の4者それぞれが期待される役割を担い、互いに協力、補完し合うことが必要です。期待される役割を明確にし、個々の取組で着実に貢献・寄与していくことにより、本計画の実現につながります。

### << 4者の役割の遂行・協力・補完イメージ >>



## 2 計画の実現に向けた進捗管理について

本計画の基本目標を達成するため、第5章に記述した取組を行いながら、10年後の在りたい姿（状態）に近づくよう、PDCAサイクルを用いて進捗の管理を行います。PDCAサイクルとは、PLAN（計画）、DO（実行）、CHECK（検証）、ACTION（改善）の4つのステップを一連の流れとする事により、事前に計画を立ててから実行、実行後も評価を基に計画の改善ができるという長所があります。



### 計画（PLAN）

社会情勢や桶川市の商工業の現況を鑑みながら、計画の策定を行う。

### 実行（DO）

計画に基づく取組を順次実施、実現するよう努める。

### 検証（CHECK）

統計等による定量的な検証や、商工振興委員による定性的な見解など、多方面からの検証を定期的に行う。

### 改善（ACTION）

検証に基づき、課題の把握や、取組・計画の見直し、改善策の検討を行う。

### 3 桶川市第六次総合計画「政策の進捗を押し量る指標」等について

本計画は、上位計画となる桶川市第六次総合計画に基づき推進する計画です。そのため、桶川市第六次総合計画のなかで示されている「政策の進捗を押し量る指標」及びその他の関連する指標の動向を確認しながら、本計画を実施する必要があります。

桶川市第六次総合計画の「政策の進捗を押し量る指標」及びその他の関連する指標を示します。なお、関連する指標は一例で、様々な機関が実施する調査の結果を基に、多面的に動向を確認します。

#### <<政策の進捗を押し量る指標>>

| 指標                           | 現状値                     |
|------------------------------|-------------------------|
| 市内で働きたいと思えるまちだと思う市民の割合       | 28.4%<br>(R4年度市民意識調査)   |
| 市内就業者数                       | 35,239人<br>(国勢調査)       |
| 製造品出荷額等                      | 1,175億円<br>(R3年経済センサス)  |
| 小売業事業所数                      | 353か所<br>(H28年経済センサス)   |
| 小売業年間商品販売額                   | 2,859億円<br>(H28年経済センサス) |
| 駅周辺の中心市街地ににぎわいのあるまちだと思う市民の割合 | 22.2%<br>(R4年度市民意識調査)   |

出典：桶川市「桶川市第六次総合計画」

<< 第六次総合計画「政策の進捗を推し量る指標」及びその他の関連する指標>>

